



むさしだい

学校だより 11月号
令和6年10月31日
中野区立武蔵台小学校
校長 若菜 康史

がっこう 学校、そして べんきょう 勉強

ふくこうちょう やまもと よしこ
副校長 山本 佳子

「先生、なんで学校に来なくちゃいけないんですか。」私が学級担任のころ何度か受けた質問です。その度にこの質問の続きに、「もっと休みが多いといいな・・・。」「違うところでも勉強はできるのにな。」と言った思いがあると感じていました。

先日もある子が「副校長先生、もう明日から学校に来ません。義務教育なんてなければよいのに。」と話掛けてきました。そこで私は、「義務教育は、君に義務があるのではなく、保護者の方にあるんだよ。そして、君にあるのは教育を受ける権利だよ。」と話しました。

また、学校に来なくてはいけないかという質問と同様、よく聞く質問に「なぜ学ばなくて(勉強しなくて)はならないのか。」というものがあります。その答えのヒントとして、ある書籍を紹介したいと思います。

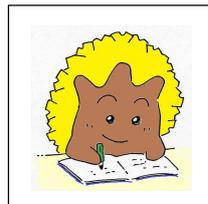
「手紙屋」蛍雪篇 喜多川 泰作 (Discover 2008) という本です。ある高校生が、卒業後の進路に悩んでいます。彼女は、勉強しなくてはと思うのですが、やる気が出ません。アルバイトをしたいと父親に相談しますが、許してもらえません。

ある日、彼女は兄の人生を変えたという「手紙屋」の存在を知ります。「手紙屋」との手紙のやり取りを通して、彼女は次のことを学んだと言います。

勉強を一つの道具として見ること。
その道具の正しい使い方を考えること。
それを自分を磨くために使うということ。
自分にできることを増やしていけば、自分の人生に意味が生まれるということ。
(中略)
家に帰ってから最初に座る場所で、人生は変わるとのこと。
「人」に興味を持つことによって「もの」を好きになることができるということ。

あれほどやる気の出なかった「勉強」が、この「手紙屋」との手紙のやり取りによって、勉強が楽しくて仕方がない、やらないといられないことになっていくお話です。

そんなうまい話があるのかな?と疑問に思う人もいるかも知れませんが、ぜひ、だまされたと思って読んでみてください。私ももっと若いときにこの本が身近にあったら、随分とちがう人生だったかもしれないな、と思います。でも、いつからでも勉強はできますので、いろいろなことを学んでいこうと思います。



北中野ファミリーニュース

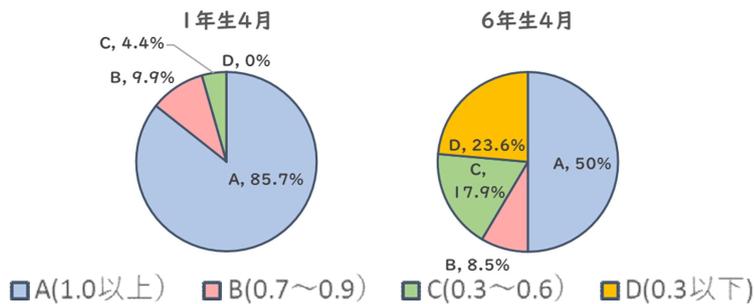
10/26 (土) 運動会がありました。北中野中学校の生徒の皆さん18名がボランティアとして運動会を盛り上げてくれました。どうもありがとうございました。これからもいろいろな場面で、よりよく関わっていきたいと思います。

健康づくり

学校での健康教育は、生涯にわたる健康づくりの出発点です。保健室では、健康診断時、応急処置時、廊下の掲示物など、あらゆる機会を健康づくりの機会と捉えて指導しています。

10月10日に目の愛護デーという記念日があります。遊ぶとき、学習するとき、何かを見たり読んだりするとき、目はとても大切な働きをしています。近年、子どもの近視が進んでいると言われていています。実際、今の6年生の1年生4月の視力検査結果と6年生4月の視力検査結果を比べると、A(1.0以上)の児童の割合はかなり下がってしまっています。低学年の頃から『目を大切にする』とはどういうことかを指導していく必要があると考え、9月の発育測定では、2年生と3年生に目を大切にするための生活について指導しました。事後に3年生に対して行ったアンケートでは、「これからは目の休憩タイムを作ろうと思いました。」「姿勢に気を付けて、目と机が近くならないようにします。」などの頼もしい感想が出ました。これからも子どもたちの健康を守っていけるよう、保健室から応援します。

4月に実施した視力測定結果



6年生 茶道体験教室

9月24日(火)、10月8日(火)、15日(火)の3日間、6年生が茶道の体験をしました。裏千家茶道の先生に来ていただき、茶道の心構えや作法、歴史などを教わり、その後、実際にお茶やお菓子をいただきました。

茶道の心得として、まず『和敬清寂』という言葉の意味を教えていただきました。「和」とは、お互いに心を開いて仲良くすること、「敬」とは、お互いに敬い合うこと、「清」とは、目に見えるだけの清らかさだけでなく、心の中も清らかであること、「寂」とはどんなときも動じない心という意味です。茶道を行う際には、まずこの『和敬清寂』という心得を心に刻むことが大切だということを学びました。

扇子や袱紗、棗、茶筌など、本格的な茶道具の使い方も教わり、実際にお茶を点て、お菓子をいただいた後にお茶を飲みました。おいしいお菓子の後に飲むお茶はとってもおいしかったようです。

今回学んだことを、社会科の授業や実際の生活の中でも生かしていきたいと思います





展示会の見どころ



12月6日(金)、7日(土)に体育館で展示会を開催します。保護者の皆様には、両日ご鑑賞いただけます。

お子様(こども学芸員)と過ごせる時間・親子タイムも設けております。

想いを込めた色・形。二度と出合えない色、思いがけない形。「じかんの結晶・こころの結晶」をお楽しみください。

1・2・3年生 共同作品 「光のオブジェ」

4・5・6年生 共同作品 「輝きのオブジェ」

	平面	立体		平面	立体
1年生	「オーロらくんうみをいく」 チョークばかしの技法を用いて表した優しい色合いの海。描いた魚に丁寧に色とりどりの鱗を貼りました。オーロラ色の魚が泳ぎます。	「しあわせケーキ屋さん」 様々な形の空き容器に、色を混ぜ込んだ粘土を貼り付け飾り付けをして、幸せな気持ちになるケーキを作りました。	4年生	「イロイロ研究所」 筆以外のものを使って表した色とりどりの作品でコラージュをしました。武蔵台小学校の植物を観察してデザインした額も描き、合わせました。	「カクカクランド」 板や角材をのこぎりで切り、楽しい空間を立ち上げました。自分の身長が1cm位だったら？この空間がどのように見えどうやって過ごすでしょうか。
2年生	「ふしぎなたまご」 カラフルな不思議な卵。殻を割って飛び出してくるのはどんな生き物でしょうか。シャボン液に絵の具を混ぜて表す技法も試みました。	「すてきなぼうし」 こんな帽子をかぶりたい。こんな帽子があったらいいな。カラーボールで、世界に一つだけ、自分だけのすてきな帽子を作りました。	5年生	「線からうまれた私の世界」 自分だけの色を作り出し、デカルコマニーという技法で表しました。その形から思いのまま「線」を広げ、大胆に細やかに構成しました。	「風が通り抜ける塔」 見えない「風」を想像しながら空間を作りました。 家庭科 「クッション」 初めての手縫い、初めてのミシンで一針一針心を込めて仕上げました。
3年生	「地底の世界」 本物の土からできた絵の具を用いて土の中を描き、ローラーを使って「掘って」いきましました。どんな世界が展開しているのでしょうか。	「つないでつけて」 のこぎりで3本の木材を切り、どこにも売っていないすてきな積木をたくさん作りました。色や形から発想が広がり、つなげてできた形は何でしょう。	6年生	「水の美」 美しいと思う「水」の場面から、色と色の境を抽出し、単純化・強調して画面を構成し、絵の具の濃度を調節しながら丁寧に彩色しました。	「心の形」 1kgの粘土を使用して、自分の心の内面を表しました。 家庭科 「ウォールポケット」 直線縫い、返し縫い、フェルトや刺繍の飾りつけがポイントです。

縦割り班活動

今年度もムークンタイムと題して毎月1回の縦割り班活動に取り組んでいます。6年生を頼りに各学年が協力しつつ様々な活動を行っています。約150人ほどの人数を6年生が自分たちで仕切り、運営していく様子は頼もしさを感じました。リーダーとしての経験を積み重ね、中学校でも活躍してほしいと思います。5年生もそんな6年生の背中を見つつ、活動に取り組みました。先輩達の動きを見て来年度の活動をイメージし、来年最高学年として今よりも更に活躍の場を広げていってほしいです。

中学年、低学年の児童も年度当初の不安そうな表情からとても柔らかな表情に変化しています。高学年のお兄さん、お姉さんに助けをもらいながら、活動を楽しんでいました。毎年毎年立場が少しずつ変化してく中で、武蔵台小学校の一員として意識を高めてもらいたいと思います。



情報モラル教室について

J:COMより講師の方をお招きし、情報モラル教室を実施しました。情報を上手に活用できるとよいですね。

学年	テーマ	学んだこと	解決法
低学年	「ゲーム等の見過ぎ、やりすぎチェック」	ゲームをやりすぎてしまうと、自分でやめたくてもやめられない「依存症」になってしまう危険性がある。	家族とルールを決めて、うまく付き合っているとよい。
中学年	「スマホ等のルール作りの大切さ」	スマホは便利な反面、危険な面もはらんでいる。	ルールを守ることによってスマホやタブレットを正しく使い、効果的に使えるとよい。
高学年	「SNSでの言葉遣いと責任」	文章だけのやり取りは受け取る人によってニュアンスが変わってしまうこと。顔の見えない相手に個人情報を伝えてしまうことの怖さ。	危険を回避しながら、便利にSNSを活用できるとよい。

